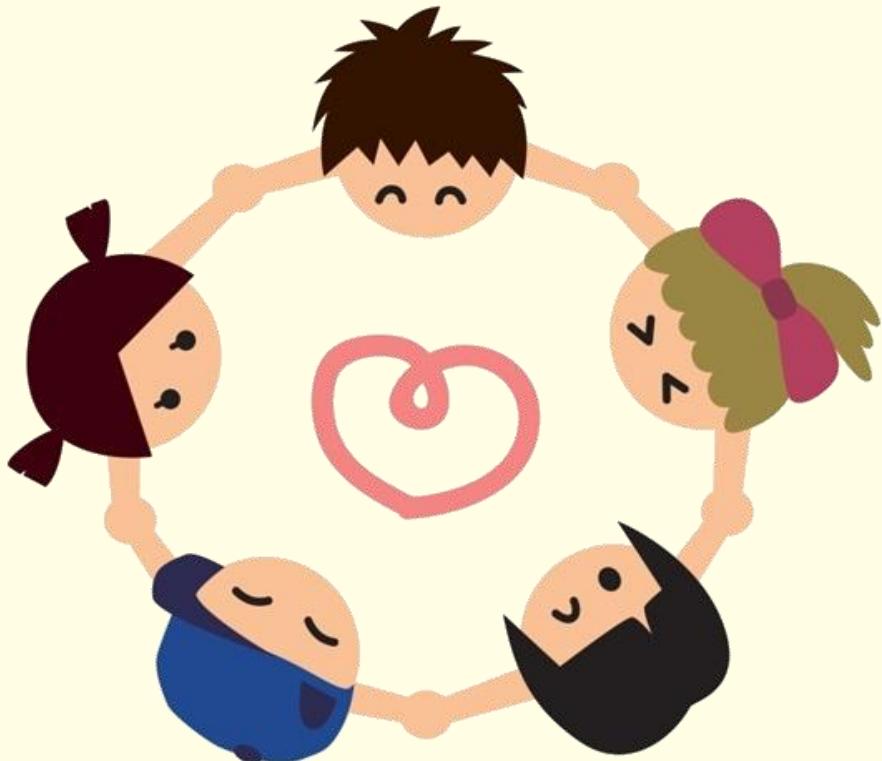




ハーフタイム



活動報告書

(2024年度分)

■ 代表者あいさつ



理事長
三枝 功侍

地域には必ず、「生きづらさを抱えた子どもたち」がいます。なかには、文字通り、命懸けで日々命をつないでいる子もいます。

「生まれてきたことが失敗なんだ」
「生きているのがツライ。もう何もしたくない…」

そう思ってしまう子どもたちが、少しでも前向きな気持ちになれるよう、私たち一人一人が力を合わせて、子どもたちに寄り添い続けたいです。

■ ハーフタイムとは

NPO法人ハーフタイムは、貧困、虐待、いじめ、不登校、引きこもり、障害、非行など、さまざまな生きづらさを抱えた子どもたちに寄り添い活動を行う団体です。

現在は、主に葛飾区内の民間施設などを利用して、来訪する小学生、中学生、高校生等に対して学生・社会人ボランティアなどが、安心・安全な居場所をつくりながら、生活相談・学習支援のほか、料理教室・スポーツ・お出かけレクなどのレクリエーションも行っています。

ハーフタイムの4つの取り組み

1 拠点型の居場所づくり

葛飾区内の複数の地域にて、公共施設などの一室を借り、各地域で週1回程度、子ども・大人が集まって生活相談と学習支援を行っています。

(日時・場所の詳細はお問い合わせ下さい)



2 個別対応

さまざまな理由で個別の寄り添いが必要な子どもに対して、家庭訪問や外出時の同行支援など一人ひとりの事情に合わせた支援を行っています。



3 レクリエーション

年数回、土日・祝日などに、BBQ、料理教室、文化祭見学、クリスマス会などを行っています。



4 情報提供

子どもたちの社会的自立や健全育成について、HP・講演会等を通じて情報提供を行っています。



主な沿革

2010年 1月 任意団体「葛飾区次世代育成支援団体ハーフタイム」が発足

2月 第一拠点である「**水曜拠点**」の活動スタート

2014年 10月 葛飾区からの助成を受け始める



2010年
開始当初



11年
初BBQ会



12年
高校文化祭見学



13年
和室で勉強



14年
料理教室

2015年 6月 HPを開設

2016年 2月 かつしか区民大学「いのちの居場所を求めて」に登壇

5月 第二拠点の「**月曜拠点**」の活動スタート

2017年 4月 「特定非営利活動法人ハーフタイム」が発足

9月 一般社団法人東京キワニスクラブ「キワニス社会公益賞」受賞

設立記念シンポジウム「子どもの居場所を考える」開催

2018年 3月 東京都教育委員会の人権学習教材映像『Voice!!! – 人権の教室』掲載

5月 大妻女子大学家政学部児童学科と連携開始



15年
大学文化祭見学



16年
ボクシング観戦



17年
短大OC訪問



18年
高校受験模擬面接

主な沿革

2020年 4月 『東京都子供・若者計画（第2期）』に掲載

2021年 1月 東京都主催イベント「若チャレー未来のヒントをみつけよう」に出演
 独立行政法人福祉医療機構「2019年度WAM事業：事業評価報告書」にて
 「特に優れた事例紹介」として取り上げられる
 3月 葛飾区から「令和2年度葛飾協働まちづくり表彰」受賞
 住友生命保険相互会社「第14回子育て支援活動」にて「スミセイ未来賞」受賞
 11月 葛飾区社会福祉協議会から「ふれあいサロンあきみつ」の管理業務の受託



19年
研修会



20年
出産お祝い



21年
あきみつ

2022年 5月 理事長の交代（橋井（石原）啓子⇒三枝功侍）

2023年 8月 理事長（三枝）が「葛飾区くらしのまるごと相談事業推進委員会委員」を拝命
 10月 卒業生拠点を試験的に開始
 12月 寄付者交流会を初開催

2025年 2月 中学校の登校日数がほぼ0日の子が4年生大学へ合格



22年
デザインフェスタ出展



23年
寄付者交流会



24年
大学受験

活動実績(2025年3月末現在)

①これまでの受入児総数：117名

(見学のみ、レク等の単発参加、来訪期間1ヶ月未満の子は除く)

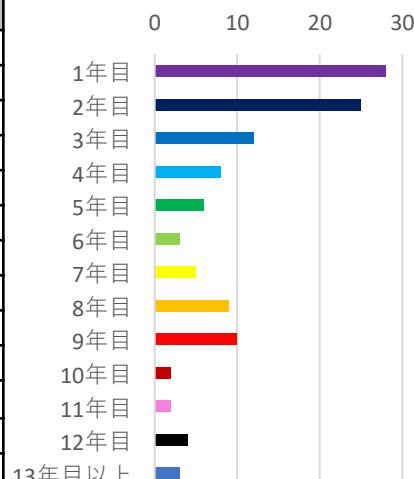
②支援開始時期の学年

学年	人数	割合(%)
小1年未満	5	4.3
小1年	4	3.4
小2年	3	2.6
小3年	5	4.3
小4年	6	5.1
小5年	18	15.4
小6年	10	8.5
中1年	21	17.9
中2年	13	11.1
中3年	14	12.0
高校	18	15.4
合計	117	



③支援期間

期間	人数	割合(%)
1年目	28	23.9
2年目	25	21.4
3年目	12	10.3
4年目	8	6.8
5年目	6	5.1
6年目	3	2.6
7年目	5	4.3
8年目	9	7.7
9年目	10	8.5
10年目	2	1.7
11年目	2	1.7
12年目	4	3.4
13年目以上	3	2.6
合計	117	



④これまでの主な進路先

都立高校

浅草、足立西、足立東、江戸川
大江戸、葛飾商業(全・定)、工芸(定)
篠崎、一橋(定・通)、南葛飾(全・定)、
六本木

都立特別支援学校高等部

葛飾特別支援、志村、水元小合

私立高校

飛鳥未来、S・N高校、江戸川
鹿島学園、聖進、中央高等学院
不二女子、安田学園、立志舎
ルネサンス

専門学校

新宿医療、竹早教員保育士養成所
東京福祉、華学園、武蔵野栄養

大学

江戸川、淑徳、聖徳、和洋女子

主な企業就職

- ・一般就労
(飲食店、運送業、介護事業、製造業
美容、放課後等デイサービスなど)
- ・福祉的就労
(就労継続支援B型事業所など)

⑤これまでの主な合格した各種試験

- ・漢字検定
- ・日本情報処理検定試験
(ワープロ・プレゼンテーション作成)
- ・英語検定
- ・色彩検定
- ・介護職員初任者研修
- ・栄養と調理技能検定



当会の寄り添い方針



当会には、「ネズミとゴキブリを飼っているよ」と言い放ってしまうようなゴミ屋敷で生活する子や、過去の虐待でフラッシュバックを起こして嘔吐してしまう子など、抱える生きづらさが深刻な子どもたちもいます。こうした子たちの生きづらさは容易には解消しませんし、生きづらさも千差万別で、順調なときとつまづくときとを繰り返しながら、波乱な思春期をなんとか乗り越えていっています。



そのため、日ごろは「何気ない優しい時間」づくりを大事にし、学力向上・進学就職・何かしらのプログラムなど、こちらからの目標・支援の枠はできる限り定めないようにしています。一人一人の寄り添い期間も長期化しますので、受け入れ人数を増やすことなども目的とはしていません。まずは、子ども一人一人の思いに寄り添い、安心・安全と思える信頼関係の構築を目指します。その関係性のなかで、中・長期的な視点を持って子どもの成長を見守り、**子ども一人一人が見出した「進みたい道」**に進めるよう寄り添っていくことを心掛けています。



ボランティアスタッフの声

ボランティアとして”何かをやってあげている”という感覚はなく、一人の人間として対等に接しています。子どもたちがイラストなどの作品を見せてくれたり、料理を作ってくれたりしたら、その都度「上手だね！」 「ありがとう！」など言葉でちゃんと伝えるようにしています。

子どもたちにとって、**ハーフタイムがやりたいことを尊重して受け入れてくれる場所であり続けることが大切だ**と思っています。

インタビュー紹介記事

ハーフタイムでは、スタッフや卒業生といった団体にかかる
さまざまな方の思いなどを紹介するインタビュー記事を作成しています！

※オンライン版では下線部をクリックすることで各記事をご覧いただけます

卒業生

1

2020年3月 紗希さん（仮名）
「それでも前を向きたい」

2

2021年3月 彩綾さん（仮名）
「自分を好きになることを教えてくれた場所」

スタッフ（肩書はインタビュー当時）

1

2018年9月 三枝功侍
（事務局長）
「子供達に『第3の居場所』を提供したい」
(現在、記事はご覧いただけません)

2

2019年3月 細田朱里さん
（学生ボランティア）
「何気ない日常と一緒に」

3

2019年7月 桑原寧子さん
（学生ボランティア）
「第4回ハーフタイム主催研修会での発表紹介」

4

2019年12月 松本彩花さん
（学生ボランティア）
「3年間の活動を振り返って」

5

2020年3月 山崎 墓さん
（学生ボランティア）
「近い距離で子どもに寄り添えたからこそ得た
気づきと経験」

6

2020年11月 長谷川里美さん
（社会人ボランティア）
「長く関わっているからこそ生まれた気づきと想い」

7

2021年7月 石原啓子さん
（理事長）
「ハーフタイムのあゆみとこれから」

8

2022年1月 斎藤日奈さん
（学生ボランティア）
「ただそこに居られる場所の一員として」

9

2022年9月 山川さおりさん
（社会人ボランティア・仮名）
「社会人から始めるボランティア活動」

10

2023年4月 梶原 嶋さん
（社会人ボランティア）
「私とハーフタイム～継続寄付という関わり方に
ついて～」



※オフライン版をご覧の方は当会HPで各記事をご覧いただけます
<https://halftime2010.wixsite.com/halftime/interview>

インタビュー紹介記事

記事の一部ご紹介

10

2023年4月 梶原 嶽さん

(社会人ボランティア)

「私とハーフタイム～継続寄付という関わり方について～」



2016年7月（当時大学4年）より参加。
ボランティアスタッフとして活動し、
現在は国家公務員として福祉業務などに
従事中

◆ボランティアを始めた理由

大学生当時、子どもが愛情をもって育ててもらえる環境を作ることが大切だという思いから、子ども支援関係の仕事を希望して就職活動をしていました。そんな中、大学のゼミでハーフタイムの存在を知り、興味を持ちました。

◆寄付を始めたきっかけ

仕事の都合や新型コロナウイルスの流行により、拠点での活動から足が遠のいてしまった時期がありました。その時に、社会人になって拠点での活動参加が難しくなっても、ハーフタイムに関わり続けたいと思い、その手段として寄付を始めました。…実際、必ずしも現場での活動に参加しなくとも、ハーフタイムから送付される活動報告や、子どもたちが作った寄付の御礼品を通して、心の中でハーフタイムと繋がることができていると感じています。

◆継続寄付を通して感じたこと

現代は、物質的な豊かさを超えて、精神的な豊かさを追い求める人も多い時代かと思います。そんな中、寄付はまさに精神的な豊かさに繋がるものだと感じます。もちろんハーフタイムを応援したいという思いで寄付をしていますが、社会のプラスになることをできている思うことで、自分の精神面にもプラスになっています。約12年間に渡り居場所作りを続けてきたハーフタイムと継続的に関わっていることは、周囲に胸を張って話せるくらい誇らしいです。…そう思えるほど、ハーフタイムは私にとっても大切な居場所です。



寄付の御礼品と社員証

活動支援のお願い

一緒に活動する



・正会員（年会費12,000円）

総会への出席・議決、活動のバックアップ



・学生・社会人ボランティア（無償）

日々の子どもへの寄り添い、事務運営のお手伝い



寄付

1 クレジットカードによるご寄付

今回の「都度寄付」、毎月・毎年といった「定額寄付」

<https://halftime2010.wixsite.com/halftime/kihuwasuru>



2 口座振込によるご寄付

①ゆうちょ銀行からご寄付いただく場合

記号・番号 10130・86503951

口座名 トクヒ) ハーフタイム

(本口座では、記号と番号の間に1桁の数字はありませんので空欄になります)

②他の金融機関からのご寄付いただく場合

ゆうちょ銀行（金融機関コード 9900）

店番 018

店名 ○一八店（読み ゼロ・イチ・ハチ）

預金種目 普通預金

口座番号 8650395

口座名義 トクヒ) ハーフタイム



【返礼品例】

- ・HT通信
- ・子どもとの創作品のプレゼント



2023（令和5）年度事業報告・活動計算

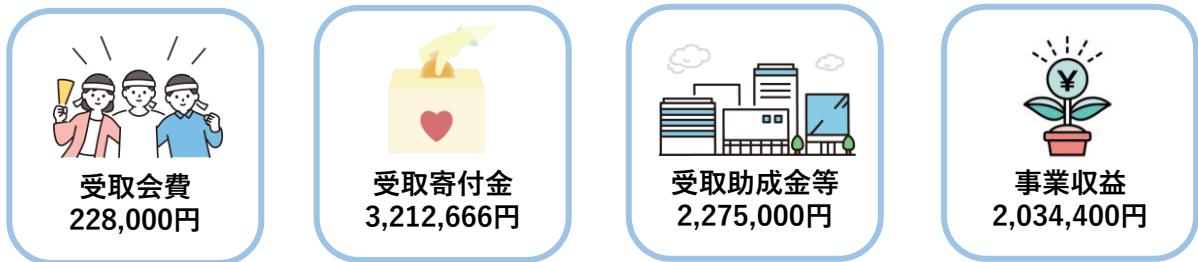
（HPに詳細掲載中）

（1）事業報告（延べ人数）

事業名	従事者人数（人）	受益対象者人数
拠点型事業 (あきみつ拠点除く)	930	645
個別対応型事業	583	368
生活訓練事業	57	41
情報提供事業	若干名	不特定多数

（2）活動計算

経常収益：7,782,020円



（その他 31,954円）

項目	円
経常費用	8,245,562
当期経常増減額	-463,542
法人税	70,000
前期繰越正味財産額	10,103,006
次期繰越正味財産額	9,569,464



会員構成 (2025年3月末現在)

・学生ボランティア : 38名

(大学 - 麻布、大妻女子、共立女子、慶應義塾、国際医療福祉、駒沢女子、聖徳、大正、高崎経済、中央、筑波、明治学院、早稲田など
専門 - 東京福祉、日本福祉教育)

・社会人ボランティア : 79名

(学校教員、弁護士、障害児・高齢者介護施設、公務員、マスコミ、社協、他団体NPO、一般企業など)

・正会員 : 25名

(葛飾区職員(元含む)、葛飾区議会議員、葛飾区民生児童委員、大学教員、弁護士、保護司、中間支援組織、一般企業、地域住民など)

お問い合わせ先

NPO法人ハーフタイム (理事長 三枝功侍)

〒125-0054 東京都葛飾区高砂7-25-19

TEL : 090-5827-4346

E-mail : k.halftime@live.jp

HP : <http://halftime2010.wixsite.com/halftime>



子どもが描いたイラスト

日々の活動の様子について、
ホームページなどでご紹介中です！
ぜひご覧ください！



HPはこちらから！